

《付録》

# アラビア文字資料整理簡易ガイド

2011 改訂版

作成：柳谷あゆみ

## はじめに

この簡易ガイドははじめてアラビア文字資料の書誌整理を行う方の参考となることを願って作成したものである。実例をもとに基本的な見方や気づきの点を簡略に示したのみであり、また、作者の専門言語（アラビア語）の都合もあり、極めて限定された内容となっていることを予め申し上げたい。

本ガイドは以下の内容による。

1. アラビア語図書の例（1）基本的な図書  
アラビア語図書の例（2）欄外注のある図書1.  
アラビア語図書の例（3）欄外注のある図書2.  
アラビア語図書の例（4）巻末のフィフリスが目次となる例
2. アラビア語翻字の参考
3. ペルシア語翻字の参考

1. では、アラビア文字の図書の例を4例掲載し、書誌を取るときに留意することなどごく基本的な内容を記した。

例に用いたのはアラビア語の図書だが、基本的な仕組みはどの言語であっても大差はないので、目録規則は『英米目録規則』第二版を使用している。形態や構成で異なる部分を敢えて挙げれば、アラビア文字言語はラテン文字言語と異なり右から左に文字が流れるため、資料が横書きかつ右綴じ本となる点だろう。

（1）で基本的な内容を、（2）（3）ではアラビア文字資料でも厄介な欄外注のある図書を取り上げた。アラビア文字資料に良くある索引の例を（4）として挙げた。

なお、文中で紹介しているイスラーム地域の暦の換算法については、より詳しい内容を東洋文庫拠点サイトの「イスラーム地域資料の参考」に公開しているので、関心のある方は下記サイトをご参照いただきたい。

◆イスラーム地域資料の参考 URL : [http://www.tbias.jp/report\\_reference.html](http://www.tbias.jp/report_reference.html)

「イスラーム地域資料の参考」は必要に応じて少しずつ内容を増やしている。いまだ不十分な内容ながら、お気づきの点などご助言をいただけたら幸いである。

2. 3. は本編調査でも取り上げた翻字についての参考である。NACSIS-CAT で採用されている ALA-LC Romanization tables に基づき、その規則の一部を解説している。この規則の特色の理解を助けることを目的として作成したが、規則そのものではないので、整理に当たる際には必ず原典を参照いただきたい。

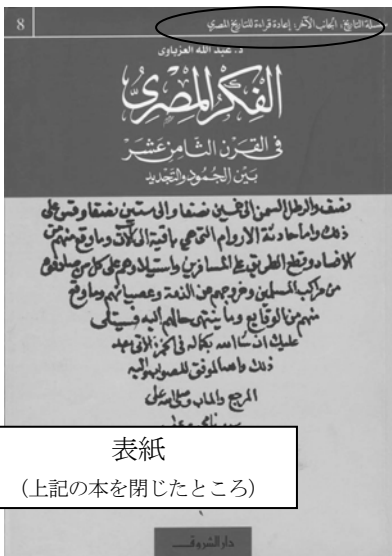
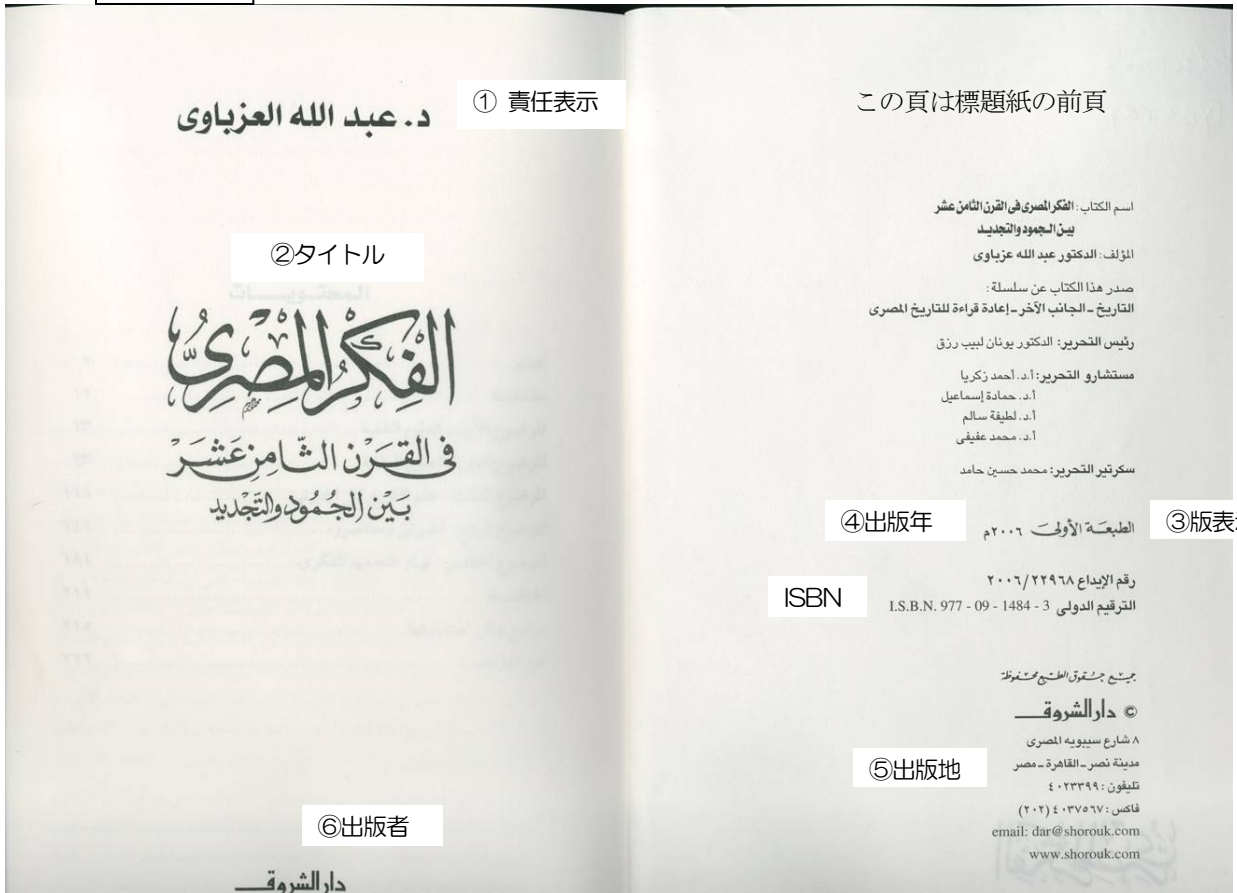
最後に、本ガイドがいまだ限定的な内容である点を改めてお詫び申し上げる。内容及び体裁の不備は全て筆者の責任であるが、本ガイドがアラビア文字資料整理の入口として多少なりとも役に立てれば幸いである。

# 1. アラビア語の図書の例 (1)

各項目の説明は次ページにて→

\*右綴じ (アラビア文字は右から左に流れるため)

標題紙



## ⑦ シリーズ

### ＜情報源＞

\* 記述内容の種類 (エリア) によって、情報を取るべき箇所 (情報源) は異なる。

エリア	規定の情報源
タイトルと責任表示	標題紙*
版	標題紙、その他の情報源、奥付
出版、頒布など	標題紙、その他の情報源、奥付
形態的記述	当該出版物全体
シリーズ	シリーズの標題紙、 モノグラフの標題紙、表紙、 出版物の残りの部分
注記	あらゆる情報源
標準番号と入手条件	あらゆる情報源

\* 標題紙というときは標題紙の代替物をすべて含む (アジアの出版物では標題紙の代わりとしての奥付を含む)

①責任表示 : د. عبد الله العزباوى とある。

先頭の د. は「博士」 الدكتور の略号である。他に以下のような称号が見られることもある。

المحامي : 弁護士      بروفيسور : 教授      المهندس : 技師      علامة : 大学者

称号・尊称は、個人の識別に必要である、削除すると文法的に成り立たなくなる、また名前か姓だけになってしまうという不可欠の場合を除けば、記述しない。

②タイトル : الفكر المصري في القرن الثامن عشر بين الجمود والتجديد という一つの句である。

タイトルと責任表示は基本的に標題紙に書かれたとおりに記述する。

\*情報源にない情報（整理担当者の判断による記述）を記述するときは[ ]でくくる。

明らかな誤記がある場合は、『英米目録規則』第二版に拠ると以下の3通りの対処がある。

①[sic]を付し誤記のまま記述②[i.e. ○○]と訂正済みの記述を行う③脱字は[ ]で括り文字を補う

※これをアラビア文字資料でどのように表記するかは今のところ規定が無く、各機関のローカルルールとなるので慎重に判断いただきたい。なお、東洋文庫イスラーム地域研究資料室では以下の通りとしている。 ① [كذا] ② [أي]

i) エジプトの出版物は語末のيの点を表記しないことが多いので（yと表記する）読み間違いに気をつける。

ii) 近世以前に執筆された資料や、法学書・歴史書・宗教書の標題紙は、ディーワーニー体など読みにくい書体で書かれていることが多い。

③版表示 : الطبعة الأولى 初版

アラビア文字資料では第二版と表示しながら実質第二刷（改版無し）である場合も多い。

改版があった場合、特に以下の語が付されることがある。

مزيدة      増補  
منقحة      改訂

④出版年 : ٢٠٠٦ م. 西暦 2006 年

م. ميلادي の略で、西暦であることを表す。

هـ. هجري の略で、ヒジュラ暦（イスラーム暦）であることを表す。

<チューリヒ大学東洋学研究所サイト：ヒジュラ暦/西暦相互変換ツール>

URL: <http://www.oriold.uzh.ch/static/hegira.html>

⑤出版地 : القاهرة カイロ（エジプト）と記載されている。

طرابلس （トリポリ。リビアとレバノンにあり）など複数の国に同一都市名がある場合がある。

⑥出版者 : دار الشروق と記載されている。

⑤⑥（出版情報）が、標題紙と表紙とでまったく異なるケースがたまにある（あるいは異なる標題紙が二つ）。これはリプリントを行った出版者が、前の出版者による版を完全にコピーして、そこに自社の表紙をつけたためである。

⑦シリーズ : سلسلة التاريخ جانب الآخر. إعادة قراءة للتاريخ المصري ; 8 とある。

<その他>

ページ数 : ページ数は数字（アラビア数字またはアラビア文字の数字）以外に、アラビア文字（アブジャド）で表記されることがある。前書きなどで通常ページ数を表記する位置に ... ج ، ب ، أ と独立体のアラビア文字が記載されていたら、ページ数の表記と考えられる。

アラビア語の図書の例 (2) 欄外注のある図書 1.



左記の資料のように、本文の欄外にある注が、単なる注記ではなく、別個のテキストであることがある。

このようなケースは法学書や宗教関連の資料に多い。

★欄外注が別テキストの場合は、合集（一冊に複数の資料が含まれているもの）扱いとして記述することがある。



標題紙を見ると欄外注については **بهامشه** という語の下に情報が記載されている。

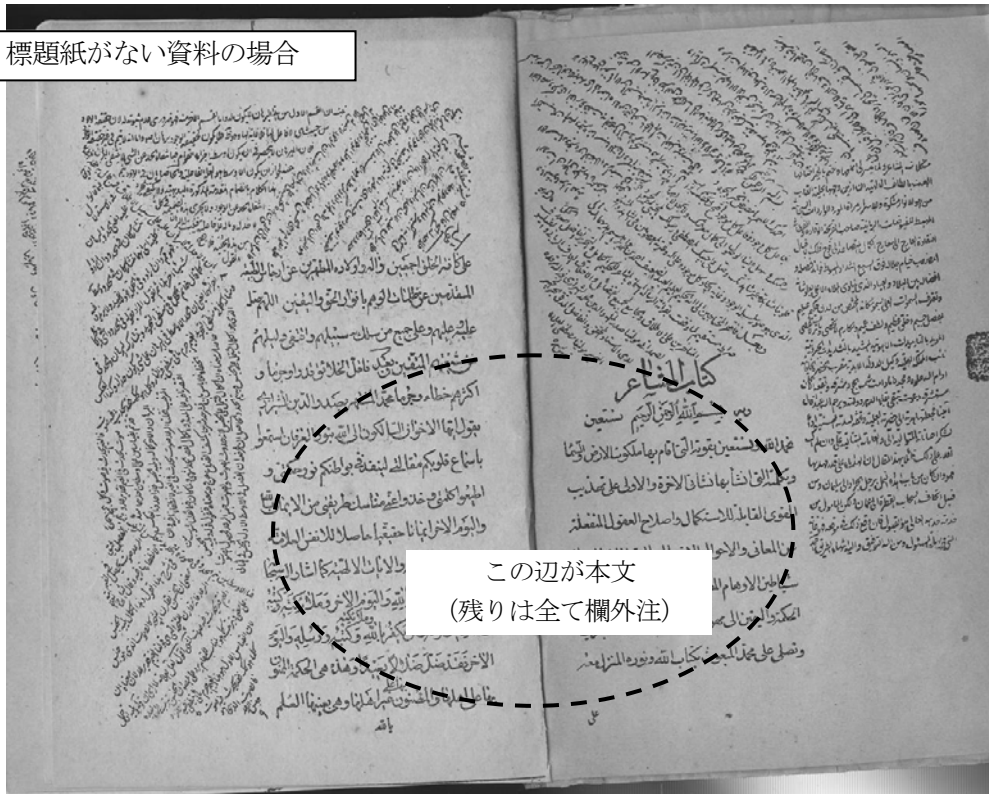
\* **هامش** とは「欄外の空白」の意

ここを見ると、欄外注のタイトルや責任表示がわかる。

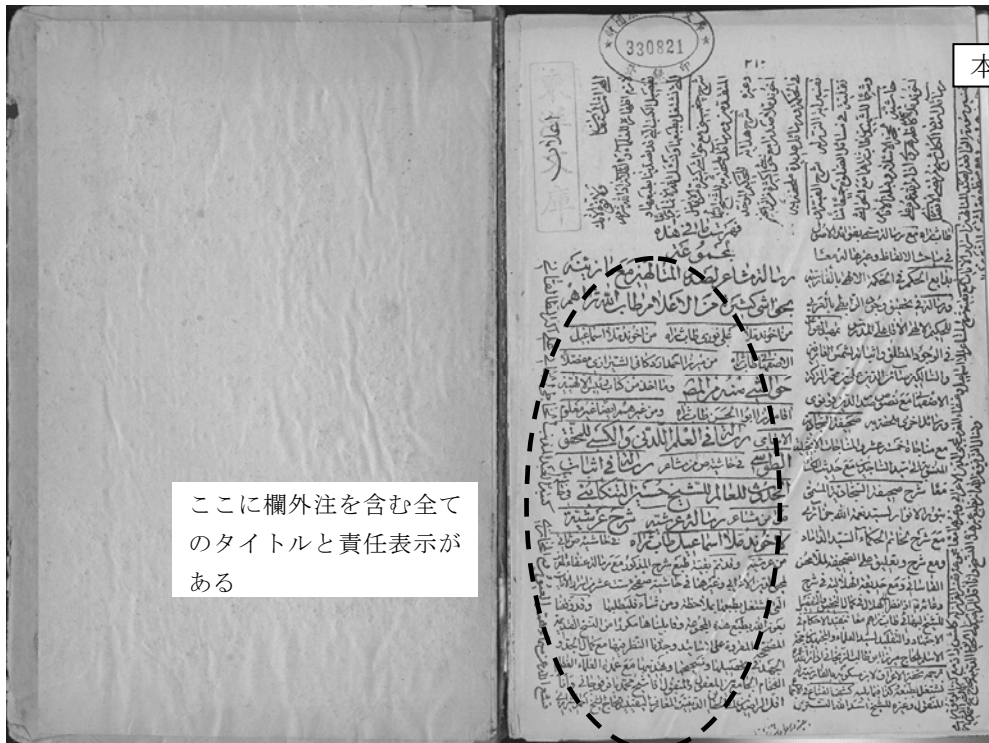
欄外注のテキストのタイトルや責任表示を知るには  
① 標題紙  
② 本文の最終頁  
③ 本文の最初頁  
を見ていくと良い。

アラビア語の図書の例 (3) 欄外注のある図書 2.

標題紙がない資料の場合



本文最終頁



## アラビア語の図書の例（４）巻末のフィフリスが目次となる例

الموضوع	فهرس المحتوى
تقديم: لذة المقدس، قراءة في كتاب حمادي المسعودي	5..... "متخيل النصوص المقدسة في التراث العربي الإسلامي"
تمهيد	15.....
الفصل الأول: مقارنة النصوص المقدسة	17.....
1. مدخل إلى دراسة المقدس في الثقافة العربية الإسلامية	18.....
2. قصة النبي صالح في القرآن: البنية الوظيفية والدلالة	67.....
الفصل الثاني: النصوص المقدسة وتحولاتها	91.....
1. المرجعية المسيحية في النص القرآني	92.....
2. نهاية المسيح من المرجعية الإنجيلية إلى النص التاريخي لدى الطبري	116.....
3. النصوص المقدسة وتوالد القصص	139.....
الفصل الثالث: الأسطورة في النص الديني	179.....
1. العجيب في النصوص الدينية	180.....
2. الاحتفاء بالخلق في النصوص الدينية	204.....
3. التاريخ والزمن والأسطورة في مدونة الطبري	225.....
4. عالم السماء/عالم الأرض: التخيل ووظيفته في الأساطير العربية	254.....
الخاتمة	276.....
المصادر والمراجع	279.....
فهرس المحتوى	287.....

巻末に、左図のようなフィフリスが掲載されている例は多い。

フィフリスは通常「索引」と訳されることが多いが、「目次」の意味も持つ。

よく見れば気づくように、左図の内容は目次と同じである。

索引としての用はまったく成さないで混同に気をつけなければならない。

アラビア語に堪能でない人にも、見分けるのは簡単である。

ページ数の表記が小さい数から大きな数へと順序良く並んでいたら、それは目次のフィフリスである。

アラビア語に限らず、アラビア文字資料には、よく左図のように末尾に目次を掲載するものがある。

#### <参考> アラビア語の数字・ペルシア語の数字

アラブ地域及びペルシア語圏では下記の数字を採用している場合も多い。

これらを便宜上「アラビア語の数字」「ペルシア語の数字」とするが、両者とも基本的に左から右に記述する。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	アラビア数字
٠	١	٢	٣	٤	٥	٦	٧	٨	٩	アラビア語の数字
۰	۱	۲	۳	۴	۵	۶	۷	۸	۹	ペルシア語の数字

なお、アラビア語の数字とペルシア語の数字では、一見同じ形に見える数字でも Unicode 上は別のコードが付されているので、混用しないよう注意を要する。

## 2. アラビア語翻字の参考

### \*ALA-LC Romanization tables におけるアラビア語翻字規則について

本稿は、国立情報学研究所の書誌ユーティリティ NACSIS-CAT にて採用されている米国議会図書館 (Library of Congress 以下 LC) 採用のアラビア語翻字規則 ALA-LC Romanization tables について、アラビア語を習得した整理担当者の参考となるよう解説したものである。基本的には、研究論文等でアラビア語の翻字自体は経験のある整理担当者を対象に想定し、内容の簡略化を行った。

本稿はあくまで補助資料であり、翻字規則そのものではない。実際の作業に当たる際には随時 ALA-LC Romanization tables を参照いただきたい。

ALA-LC Romanization tables（原文は英文）はインターネットでもアクセス可能である。

URL: <http://www.loc.gov/catdir/cpsa/romanization/arabic.pdf>

本参考の内容は以下の通りである。

- I. 翻字表
- II. 記号の使用について：ハイフンとプライム
- III. シャッダ、タンウィーン
- IV. 母音を表記する際の留意点
- V. 定冠詞
- VI. ibn の翻字
- VII. Allāh に関わる句の翻字



I. 翻字表 ※ALA-LC Romanization tables には本来のアラビア語には無い文字についても記載されているが、本参考では割愛した。

文字	名称	翻字	備考
ا	alif	a ā	
ب	bā	b	
ت	tā	t	
ث	thā	th	
ج	jīm	j	
ح	ḥā	ḥ	
خ	khā	kh	
د	dāl	d	
ذ	dhāl	dh	
ر	rā	r	
ز	zāy	z	
س	sīn	s	
ش	shīn	sh	
ص	ṣād	ṣ	
ض	ḍād	ḍ	
ط	ṭā	ṭ	
ظ	ẓā	ẓ	
ع	ayn	‘	02BB (Unicode)
غ	ghayn	gh	
ف	fā	f	
ق	qāf	q	
ك	kāf	k	
ل	lām	l	
م	mīm	m	
ن	nūn	n	
هـ	hā	h	
و	wāw	w, ū	
ي	yā	y, ī	
ء	hamzah	’	02BC (Unicode)
ى	alif maqṣūrah	á	*1.
ة	tā marbūṭah	h, t	*2.
وْ	二重母音	aw	
يْ	二重母音	ay	

\*1. ى（アリフ・マクスーラ（の翻字 = á

発音上は a の長母音だが、表記上の差異を考慮し、上記のように翻字する。

\*2. ة（ター・マルブータ）の翻字 = h ないし t

t と翻字 = ①イダーファ（属格限定）を受けている場合②対格のタンウィーンの場合

h と翻字 = 上記以外全て

例) جامعة دمشق Jāmi‘at Dimashq （ダマスカス大学）

جامعة は دمشق の属格限定を受けているので、جامعة 末尾のター・マルブータは t と翻字する。

الجامعة الجديدة al-jāmi‘ah al-jadīdah （その新しい大学）

الجامعة は الجديدة によって形容されている（属格限定ではない）ので、الجامعةの末尾のター・マルブータは h と翻字する。

## II 記号の使用について：ハイフンとプライム

### 1. ハイフンの使用

ハイフンが使用されるのは以下の三つの場合である。

- (1) 定冠詞 al と単語のつなぎ

例) المدينة al-madīnah

- (2) 接続詞 و، ف とその次の語とのつなぎ

例) ألف ليلة وليلة Alf laylah wa-laylah

※アラビア語正書法では、接続詞の و と次の語との間は一文字空けすることなく連続して書く。

※なお、この「接続詞の و のあとのハイフン」はアラビア語書誌の翻字で特に忘れられることが多いので注意されたい。接続詞の و は英語の and にあたるもので、タイトル中にも頻出する。一定量の翻字タイトル中に「wa-」という表記がみられない場合、翻字ミスの可能性を疑ってみたほうが良い。

- (3) 次の語と非分離で書かれる前置詞 (ب، ل など) と、その次の語とのつなぎ

例) بالقاهرة bi-al-Qāhirah

### 2. プライム (') の使用

プライムは、ほぼ ALA-LC Romanization tables でしか使われない記号である。Unicode では 02B9 のコードが当てられている。

(1) プライムは別個の二文字の翻字が隣接して他の文字の翻字と同形になる場合、二文字の別を明確にするために用いる。具体的には、ث (th) や ذ (dh) や غ (gh) など、アラビア文字一文字に付き二文字が翻字形として与えられているものとの混同を防ぐために使う。

例) أكرمته akramat'hu

- (2) (他言語との複合語など) 一つの複合語に含まれる一単語の区切りを表すとき用いる。

例) قلعة جي Qal'ah'jī

شيخ زاده Shaykh'zādah

## III シャッダ、タンウィーン

### 1. シャッダ (重子音記号)

通常、シャッダはその文字を二つ重ねて表記するが、و と ي のシャッダは一部異なるので注意を要する。

- (1) و のシャッダ：直前の母音が u か a かで異なる。

i) 直前の母音が u の場合は ūw と翻字する。

ii) 直前の母音が a の場合は aww と翻字する。

- (2) ي のシャッダ：直前の母音が i か a かでまず異なる。

i) 直前の母音が i の場合：語末か語中かによって翻字が異なる。

a) 語末に ي のシャッダがある場合は ī とのみ翻字する。

ي ī

b) 語中に ي のシャッダがある場合は、īy と翻字する。

ii) 直前の母音が a の場合は全て ayy として翻字する。

## 2. タンウィーン

タンウィーンは通常は表記されないが、以下の2つの場合のみ表記する。

## (1) 対格

例) طبعاً ṭab‘an (×ṭab‘a)  
فجئة faj‘atan (×faj‘a)

(2) 弱動詞から出来た名詞・形容詞で、第三語根の弱文字 (و や ي) が明記されない場合のタンウィーンは表記する。

例) قاضٍ qāḍin (×qāḍi)  
معنى ma‘nan

## IV. 母音を表記する際の留意点

1. 語頭ハムザは、ハムザ記号をつけず母音のみ表記する。

○ Aḥmad × ‘Aḥmad

2. 語末の母音について

(1) 動詞の活用による語末の母音変化は表記するが句末・文末に来るときは無母音とする。

例) صلى الله عليه وسلم ṣallā Allāh ‘alayhi wa-sallam

(2) 名詞 (人称代名詞及び指示代名詞を除く)・形容詞の語末の母音変化は以下の2つの場合を除いて表記しない。ター・マルブータ、タンウィーンについてはそれぞれの項目を参照。

以下の2つの場合は表記する。

i) 人称代名詞非分離形が後に付く場合

例) بيته baytuhu cf. البيت al-bayt

ii) 詩の転写

(3) 人称代名詞非分離形の語末の母音は表記するが句末・文末に来るときには無母音とする。

例) توفيق الحكيم وأفكاره وآثاره Tawfiq al-Ḥakīm wa-afkāruhu wa-āthāruh

(4) 接続詞と独立形の前置詞の語末の母音は表記する。

## V. 定冠詞

1. 定冠詞 al とそれに続く語はハイフンでつなぐ。

2. 定冠詞 al は、文頭にある場合と同様に、その前に別の語がある場合も常に al と表記する。

(原綴で文字の脱落が発生する場合を除き、ハムザトゥル・ワスルを考慮しない)

3. 定冠詞 al は後に太陽文字が続く場合も al と表記する。

(太陽文字による発音の変化=al の l 音の脱落と先頭の文字の促音化を考慮しない)

4. 前置詞 li のあとに定冠詞 al が来る場合は、ハムザトゥル・ワスルによって原綴でも文字の脱落が起こるケースにあたるので、翻字に反映させる。

例) للشربيني lil-Shirbīnī

## VI. ibn の翻字

ابن 及び بن は常に ibn と翻字する。但し、現代の人名については例外が認められている。具体例については ALA-LC Romanization tables を参照されたい（例えば、北アフリカの人名では بن を Bin と翻字してよいことになっている）。

## VII. Allāh に関わる句の翻字

以下の通りとする。

الله	Allāh
بالله	billāh
لله	lillāh
بسم الله	bismillāh

繰り返しになるが、本参考はあくまで補助資料に過ぎないので、これで解決できない問題については必ず ALA-LC Romanization tables を参照いただきたい。

### 3. ペルシア語翻字の参考

#### \*ALA-LC Romanization tables におけるペルシア語翻字規則について

本稿は、3.アラビア語翻字の参考と同様、ALA-LC Romanization Tables におけるペルシア語翻字規則について、ペルシア語を習得した整理担当者の参考となるよう解説したものである。3. 同様に研究論文等でペルシア語の翻字自体は経験のある整理担当者を対象に想定し、内容の簡略化を行った。

本稿はあくまで補助資料であり、翻字規則そのものではない。実際の作業に当たる際には随時 ALA-LC Romanization tables を参照いただきたい。

ALA-LC Romanization tables（原文は英文）はインターネットでもアクセス可能である。

URL: <http://www.loc.gov/catdir/cpsd/romanization/persian.pdf>

本参考の内容は以下の通りである。

- I. 翻字表
- II. 記号の使用について：ハイフンとプライム
- III. シャッダ、タンウィーン
- IV. エザーフェとハムザ
- V. 外来語の表記
- VI. 母音を補う際の参考資料

## I. 翻字表

文字	翻字	備考
ا	a ā	
ب	b	
پ	p	
ت	t	
ث	ṯ	(Unicode 未対応)
ج	j	
چ	ch	
ح	ḥ	
خ	kh	
د	d	
ذ	ḏ	
ر	r	
ز	z	
ژ	zh	
س	s	
ش	sh	
ص	ṣ	
ض	z	(Unicode 未対応)
ط	ṭ	
ظ	ẓ	
ع	‘	02BB (Unicode)
غ	gh	
ف	f	
ق	q	
ك	k	
گ	g	
ل	l	
م	m	
ن	n	
ه	h	*1
و	v, ū	*2
ی	y, ī, á	*3
ء	’	02BC (Unicode)
َ	aw	
ِ	ay	

\*1 ه はアラビア語の ه (ター・マルブータ) として使用することがある。

\*2 خ に続く無音の و はローマ字表記される。

khvāstan خواستن khvud خود

二重母音が短母音 v に先行する際は、avv と表記。

\*3 ی は語尾の長母音 á にも使用する。 Muṣṭafá مصطفى

エザーフェとしての用法はエザーフェの項を参照。

※母音を補う際には、VI.を参照。

## II. 記号について：ハイフンとプライム

### 1. ハイフン

- (1) アラビア語の定冠詞 al と単語のつながり

例) ‘Abd al-Ḥusayn      عبد الحسين

- (2) エザーフェ：エザーフェの項目を参照。

### 2. プライム (') の使用法

プライムは、ほぼ ALA-LC Romanization tables でしか使われない記号である。Unicode では 02B9 のコードがあてられている。以下の場合に用いる。

- (1) そのままでは誤読されかねない、発音の異なる二つの連続した子音字を区切る。

例) marz'hā      مرزها

- (2) 語中における最後の文字の使用を反映する。

例) rāh'hā      راهها  
Qāyim'maqāmī      قائم مقامی  
Bih'āzīn      به آذین

- (3) 接辞や文法的に関連している語が連結せずに書かれる場合の区切り。

例) khānah'hā      خانهها  
khānah'am      خانهام  
khānah'ī      خانهای  
mī'ravam      میروم  
(連結している場合は mīravam      (میروم)  
bih'gū      بهگو  
bar'rasīhā      بررسیها  
Kāzim'zādah      کاظمزاده  
(連結している場合は Kāzimzādah      (کاظمزاده)

- (4) 複合語（複合語の人名を除く）を構成する語が連結せずに書かれる場合の区切り。

例) marīz'khānah      مریضخانه  
(連結している場合は marīzkhānah      (مریضخانه)  
Shāh'nāmah      شاهنامه  
(連結している場合は Shāhnāmah      (شاهنامه)

複合語から成る人名の場合は以下の通りとする。

例) Ghulām 'Alī      غلام علی or غلامعلی  
Shāh Jahān      شاه جهان or شاهجهان  
Ibn 'Abī Ṭālib      ابن ابی طالب or ابن ابیطالب

### III. シャッダとタンウィーン

#### 1. シャッダ（重子音記号）

（１） ˆ（シャッダ）は通常は子音を二つ重ねて表記する。

例) khurram	خَرَم
avval	اَوَّل
bachchah	بَجَّه
Khayyām	خَيَّام

（２） و と ی にシャッダが付く場合：長母音と子音の連結を表わす例外的ケースもある。

例) nashrīyāt	نَشْرِيَّات
--------------	-------------

#### 2. タンウィーン

アラビア語の単語に多いタンウィーンは以下の通り書く。

ˆ	un
ˆ	in
ˆ もしくは ˆ	an

### IV. エザーフェとハムザ

#### 1. エザーフェ

エザーフェの関係で二語が連結する場合、第一語（ムザーフ）の後に、以下の規則に拠ってローマ字でエザーフェを示す一語を追加する。

（１）ムザーフにエザーフェを示すものが特にならない場合、-i を追加。

例) dar-i bāgh	در باغ
qālī-i Īrān	قالی ایران
khānah-i buzurg	خانه بزرگ

（２）ムザーフに ء がつく場合、-i を追加。

例) qālī-'i Īrān	قالیئ ایران
khānah-'i buzurg	خانه بزرگ

（３）ムザーフに ی がつく場合、-yi を追加。

例) rū-yi zamīn	روی زمین
Daryā-yi Khazar	ردیای خزر
khānah-yi buzurg	خانهی بزرگ

（４）人名のローマ字表記は、ペルシア語表記で特に明示される場合にのみエザーフェを附す。

#### 2. ء（ハムザ）

（１）語頭ハムザは翻字しない。

（２）語中・語尾のハムザは、' で翻字する。ただし、（３）（４）の場合を除く。

例) mu'assir	مؤثر
khulafā'	خلفاء
pā'in	پائین

（３）エザーフェ記号として使用される場合：ハムザは -i と翻字する。

例) āstānah-'i dar	آستانه در
-------------------	-----------



（４）不定詞的用法の場合：ハムザは 'i と翻字する。

例) khānah'i خانۀ

## V. 外来語の表記

1. ペルシア語文中の外来語（アラビア語を含む）については、ペルシア語表記の規則に従ってローマ字表記する。
2. 印字されない短母音については、その語の本来の発音に最も近いペルシア語の母音でローマ字表記する。

## VI. 母音を補う際の参考資料

ペルシア語をローマ字表記する際、主として母音を補う目的から、LC は原則として以下の辞書を参照している。

M. Mu'in. *Farhang-i Fārsī-i mutavassit*.

繰り返しになるが、本参考はあくまで補助資料に過ぎないので、これで解決できない問題については必ず ALA-LC Romanization tables を参照いただきたい。

---

## 日本におけるアラビア文字資料の所蔵及び整理状況の調査

平成 21 年（2009 年）3 月発行

編者 柳谷あゆみ

発行 NIHU プログラム「イスラーム地域研究」東洋文庫拠点  
財団法人東洋文庫研究部イスラーム地域研究資料室  
〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-21

印刷 中央印刷株式会社

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-26-19 陸王西池袋ビル 4 階

ISBN 978-4-904039-06-9

---